

住まいのリフォームコンクール 入賞作品

「住まいのリフォームコンクール」は、優良なリフォーム事例を募り、消費者・事業者に広く紹介することを目的に、(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターが主催しています。

第22回

第22回(平成17年度)では605点の応募の中から、37点が入賞しました。ここでは特別賞受賞作品5点を紹介します。

国土交通大臣賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
堺の家	持家一戸建	総合	50年	大阪府堺市

受け継いだ家を、より家族が心地よく生活できる空間へ。



Before



After

設計/平井憲一建築事務所 施工/(株)日の出組

- 意匠的には既設の木組みを生かし、木の持つ温かさと珪藻土・漆喰壁で構成。
- 庭の自然を最大限感じられるように、木製建具を全開できるように。
- 木造木組現し工法のため、オール電化にして火災への安全性に対処。

【講評】この家を大事に活かしたいと、施主が6年近く考え続けて到達したリフォーム。庭を回廊式のオープンな渡り廊下でコの字型に囲んだ点が大きなポイント。

住宅金融公庫総裁賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
おばあさまからの贈物～築70年の和風モダン	持家一戸建	総合	70年	東京都中野区

古き平屋を現代の住まいかたに合った、高級和風旅館のように。

Before



After



設計・施工/住友不動産(株)

- 昔ながらの面影を残しつつ、現代の生活にマッチさせた設計。
- 和室と広縁のイメージをルーバー使いで奥行きを出し、スポット照明で旧来の少し暗い日本家屋感を演出。
- 昔ながらの差し物は再利用し、古くささが出ないようにルーバー使いで現代風にアレンジ。

【講評】典型的な昭和初期の住宅で、祖母の時代から受け継いできた愛着ある住まいであり、まだ使えるものは使いたい、という施主の強い意志が、このリフォームを実現した。

(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
白と桐	持家共同建	総合	40年	東京都品川区

白と桐の2つのゾーンが見事に調和。

Before



After



設計/石川恭温 施工/渡辺建設(株)

- 引き戸の多用や壁と一体化する開き戸の工夫により、開け放しで1ルーム化が可能。
- 2つのゾーニング=桐の空間+白い空間。寛ぎの場は全面「桐」に、活動の場は「白塗装」。
- 桐の断熱性、柔らかさ、手触り感の良さは触感も含めて空間の気持ちよさに寄与。

【講評】桐を使った寛ぎのゾーンでは、温もりのある柔らかい感触、湿度調整に桐の特性が十分生かされている。一方、白と茶色に塗られた活動的なゾーンでは、主にラワン合板で費用を抑えつつ、シンプルで機能的な空間に仕上げている。基本的な住宅性能の確保と意匠性とを両立させ、総合的にバランス良く解決している。

住宅リフォーム推進協議会会長賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
斜めに増築・広がる視界	持家一戸建	総合	20年	千葉県柏市

斜め増築でリビングを拡張。最小限の増築で、最大限の空間的広がりを実現。



- リビング・ダイニングをそれぞれ斜めに増築することで、奥行きや広がり感を演出。
- 斜めの増築に合わせて、ダイニングテーブルを斜めの形で特注し、キッチンとつなげて一体感を。
- 吊り押し入れと床の間を設けて照明を組み込み、モダンな雰囲気を演出。

設計・施工/(株)東急アメニックス

【講評】 ツーバイフォー工法の壁を撤去せずに、既存開口部を利用した小規模な増築だけで、空間の広がりを得ることに成功している。それぞれの空間に十分な造り付け収納を確保しているため、全体がすっきり見える。細かなところまで施主の意を汲んだ丁寧なリフォームである。

審査委員特別賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
奥行きを生む収納体	持家共同建	総合	25年	兵庫県神戸市

収納体を中央にして、一人暮らしを楽しむワンルームへ。



- 真ん中に収納を持ってこることで、周りのスペースを一繋りの空間に。
- 収納体の真ん中をくり貫いて小上がりのスペースを設け、収納体自身が額縁となり奥行き感を演出。
- 部屋全体に際限ない広がりを感じられる一体感のあるワンルーム。

設計/SWITCH 一級建築士事務所 施工/(有)大路工務店

【講評】 収納を中央にまとめてその回りに居室スペースを配し、中央部をくり抜くことで開放感を生み、部屋全体を広く感じさせている。改装自由度の低そうな公団住宅でも、こんな生き生きしたリフォームが可能であることを示した。

※他の入賞作品は、リフォームのホームページでご覧になれます。

第23回

第23回(平成18年度)は693点の応募の中から、38点が入賞しました。ここでは特別賞受賞作品5点を紹介します。

国土交通大臣賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
面積は半分でも、住み易さは何倍にも!	持家一戸建	総合	44年	神奈川県鎌倉市

夫婦二人、暮らしやすい広さへ減築リフォーム。



- これからの家族構成に合わせて、2階を取り払い平屋に。
- 既存2階の床をできる限り残し、水平面の剛性を向上。
- 壁倍率の高い合板で外壁下地の壁量をアップし、耐震性を強化。

設計・施工/三井ホームリモデリング(株)

【講評】 単純な減築でありながら、住戸内を安全・快適にするリフォームにとどまらず、外部の環境や都市空間にまで美しさがにじみ出ており、サステナブルな空間の奥深さが感じられる。

住宅金融公庫総裁賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
明かりスクリーン!	持家共同建	総合	34年	東京都三鷹市

照明のように光るスクリーンによって、統一感ある住まいに。



- 親子3人の生活に合った住居に全面リフォーム。
- キッチンと洗面には木とガラスのスクリーンを建て、光を行き渡らせた。
- 広がりがありながらも、家族各人の落ち着く居場所を確保。

設計/(有)加藤・橋本建築設計事務所 施工/木遊舎

【講評】 柔らかな拡散光が照明のように広がる木とガラスのスクリーンなど、設計者の繊細なこだわり、さまざまなアイデアや工夫は、家具レベルの正確な造作工事によって現実化し、見事に再構築されている。

(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
(MOTTAINAI!思考で)ぐるぐる動線の55m ²	持家共同建	総合	14年	埼玉県さいたま市

手狭な家内を、ぐるりと回れるようにした合理的なリフォーム。



- 大きなワンルームを作り、コの字型の可動収納棚で空間を区分。
- 『廊下』というMOTTAINAIスペースを有効活用し収納動線に。
- 出窓のスライド棚には、間接照明兼ブラインドBOXで意匠性をキープ。

設計・施工/大京管理(株)

【講評】 狭さを解消するだけのアイデアに腐心せず、絶対に必要な設えと自然な着落きを両立しながら、コストを抑える工夫もされており、将来子供たちが大きくなった時の改変方法まで提案している。

住宅リフォーム推進協議会会長賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
田井中の家	持家一戸建	総合	70年	大阪府八尾市

40年を共にした愛着ある家を、より気持ちよく過ごせる家へ。



- 玄関ホール上部にガラス瓦を設置し、光が居室へと導かれるよう工夫。
- 階段の木製ルーバーにより、自然光を拡散させ室内を柔らかな雰囲気。
- 夜間時にも隣接した照明光を空間全体に放射させるように配慮。

【講評】 時間をかけてじっくりとリフォームした破綻のないデザインと、それぞれの部屋の用途・空間の質に合った照明デザインは見事である。

設計/小林広英、田村利夫 施工/(株)岡本工務店

審査委員特別賞

タイトル	タイプ	部門	築年数	所在地
野田の長屋	持家連続建	総合	95年	大阪府大阪市

古き良き長屋の面影を残しつつ、老夫婦が住みやすい家を実現。



- 開放的な空間になるようリビングの上部を吹き抜けに。
- 大開口部から光や緑を取り込み、内外が一体空間になるように工夫。
- 倉庫を解体して、洗面・トイレ、そして庭が眺められる浴室を増築。

【講評】 濃密な生活感のある長屋街の景観をこわさず、高齢の住人に元気で潤いを与えられる空間を実現したこの作品の意義は大きい。

設計/大西憲司設計工房 施工/(株)匠家具工芸

※他の入賞作品は、リフォームのホームページでご覧いただけます。